

2025/05/30 リリース

Rev. 1.61

バージョンアップ時の注意	
「ツール - ファームウェアの更新」を行い、最新のファームウェアを使用してください。 以下の機能を使用するには、別途ライセンス (SKS900) が必要です。 リアルタイム OS「μC3/Compact」の OS 資源表示機能	
機能追加および仕様変更	QI
リアルタイム OS「 μ C3/Compact」の OS 資源表示機能に対応しました。	QIJT9250002
不適合修正	QI
Infineon TLE98x マイコンで測定開始するとハードウェアエラーが発生する不適合を修正しました。	QIJT9250001

2025/03/31 リリース

Rev. 1.60

バージョンアップ時の注意	
「ツール - ファームウェアの更新」を行い、最新のファームウェアを使用してください。 以下の機能を使用するには、別途ライセンスが必要です。 - RISC-V の 32bit/32bit 超のアドレス空間および 32bit/64bit データサイズのアクセス機能 (SKS200) - RISC-V の 32bit アドレス空間および 32bit データサイズのアクセス機能 (SKS201)	
機能追加および仕様変更	QI
RISC-V マイコンに対応しました。	QIJT9240013
不適合修正	QI
変数の生存情報が別セクション(.debug_loc)にあるかどうか判定する必要があるシンボルファイルを読み込ませると EVRICA-Viewer が異常終了する、という不適合を修正しました。	QIJT9240015

2024/11/29 リリース

Rev. 1.51

バージョンアップ時の注意	
ありません。	
機能追加および仕様変更	QI
ありません。	
不適合修正	QI
ソース上で名前が与えられていない構造体、union、クラスがあるシンボルファイルを読み込ませると、EVRICA-Viewer が異常終了する場合がある不適合を修正しました。	QIICE240017

2024/09/30 リリース

Rev. 1.50

バージョンアップ時の注意	
[ツール - ファームウェアの更新] を行い、最新のファームウェアを使用してください。	

機能追加および仕様変更	QI
・Windows の表示言語が日本語以外の場合、EVRICA-Viewer が英語で表示されるようになりました。 ・英語版のマニュアル、リリースノートなどを追加しました。	QIJT9240009
アドレス変数の登録数の上限が 128 点から 1024 点に増加しました。	QIJT9240010
EVRICA-Viewer の応答性を向上しました。	QIJT9240010
配列など数字を含む変数をアドレス変数に登録した際、数字の順番 (例 : 0, 1, 2, 3...10) で登録されるようになりました。	QIJT9240010
以下の Python バージョンに新規対応しました。 ・Python 3.11 (32/64bit) ・Python 3.12 (32/64bit)	QIJT9240011
以下対応コンパイラを追加しました。 ・Arm Compiler (バージョン : 6.18) ・Arm Compiler (バージョン : 6.19) ・Arm Compiler (バージョン : 6.20) ・Arm Compiler (バージョン : 6.20.1) ・Arm Compiler (バージョン : 6.21) ・Arm Compiler (バージョン : 6.22) ・GNU Toolchain 11.3-2022.08 (バージョン : GCC 11.3) ・GNU Toolchain 12.2-2022.12 (バージョン : GCC 12.2) ・GNU Toolchain 12.3-2023.07 (バージョン : GCC 12.3) ・GNU Toolchain 13.2-2023.10 (バージョン : GCC 13.2)	QIJT9240011

不適合修正	QI
シンボルファイルからアドレス変数を登録した際、登録数の上限を超過したというエラーが不正に表示される場合がある不適合を修正しました。	QIJT9240012

2024/05/17 リリース

Rev. 1.11

バージョンアップ時の注意	
[ツール - ファームウェアの更新] を行い、最新のファームウェアを使用してください。	

機能追加および仕様変更	QI
データ測定中にメモリライトが発生した際のデータ測定中断時間を短縮しました。	QIJT9240001
データ測定中にエラーが発生した場合、復旧を試みる時間を延長するとともに、復旧時間を指定できる機能を追加しました。加えて、内部の処理を改善したことにより、データ測定中にターゲット電源 OFF/ON やリセットが発生しても、測定を停止せずに継続する可能性が向上しました。	QIJT9240002
Python コマンドで以下の操作が可能になりました。 ・アドレス変数の設定 ・複数点の一括メモリライト ・アドレス変数名/シンボル名を指定したメモリリードライト	QIJT9240008

不適合修正	QI
自己参照シンボルを持つシンボルファイルを読み込ませると、EVRICA-Viewer が強制終了する不適合を修正しました。	QIJT9230005
DWARF5 フォーマットで debug_line_str セクションがないファイルをシンボルエントリすると EVRICA-Viewer がハングアップする不適合を修正しました。	QIJT9230006
測定データの読み込みをおこなうと、ビットマスクタイプのアドレス変数の値の波形が、すべて 0x0 と表示される場合がある不適合を修正しました。	QIJT9230007
データ測定中にターゲット電源 OFF/ON やリセットが発生した際、正しいデータ測定がおこなえなくなる場合がある不適合を修正しました。	QIJT9240003 QIJT9240004 QIJT9240005 QIJT9240006
64bit ライセンス使用時、EVRICA-Viewer を起動した状態で EVRICA 本体電源が 10 分間 OFF のままだとエラーダイアログが表示され、エラーダイアログを閉じると EVRICA-Viewer も終了してしまう場合がある不適合を修正しました。	QIJT9240007

2023/06/30 リリース

Rev. 1.10

バージョンアップ時の注意	
ありません。	

機能追加および仕様変更	QI
Windows 11に対応しました。 Windows 7(SP1)、8.1 に対応 OS から削除しました。	QIJT9220009
以下対応コンパイラを追加しました。 ・ Linaro GCC Toolchain 7.4-2019.02(バージョン:GCC 7.4.1) ・ GNU Toolchain 8.2-2019.01(バージョン : GCC 8.2) ・ GNU Toolchain 8.3-2019.03(バージョン : GCC 8.3) ・ GNU Toolchain 9.2-2019.12(バージョン : GCC 9.2) ・ GNU Toolchain 10.2-2020.11(バージョン : GCC 10.2) ・ GNU Toolchain 10.3-2021.07(バージョン : GCC 10.3) ・ GNU Toolchain 11.2-2022.02(バージョン : GCC 11.2) ・ Arm Compiler(バージョン : 6.10) ・ Arm Compiler(バージョン : 6.12) ・ Arm Compiler(バージョン : 6.14.1) ・ Arm Compiler(バージョン : 6.15) ・ Arm Compiler(バージョン : 6.16) ・ Arm Compiler(バージョン : 6.17)	QIJT9220014
シンボルファイルを更新した際、登録されているアドレス変数情報を更新する処理時間を高速化しました。	QIJT9230002

不適合修正	QI
Python スクリプト実行時、0x602 エラーの要因が表示されない不適合を修正しました。	QIJT9220010
一部のグラフィックボードにおいて波形グラフの背景が白くなり測定した波形が閲覧できない場合がある不適合を修正しました。	QIJT9220011
EVRICA-Viewer を起動するとフローティングライセンスを使用する弊社プロダクト (microTRACER 等) が使用できなくなる場合がある不適合を修正しました。	QIJT9220012
EVRICA の Python ライブラリを import 時に「Import Error: DLL load failed: 指定されたモジュールが見つかりません。」エラーが表示される場合がある不適合を修正しました。	QIJT9230001
以下マイコンの測定ができない場合がある不適合を修正しました。 ・ ルネサスエレクトロニクス RZ/G1、RA2、R-CarGen2 ・ Analog Devices ADuCM410 ・ Cortex-M23、Cortex-M33	QIJT9230003
以下のシンボルファイルを読み込み時、シンボル情報が正しく表示されない場合がある不適合を修正しました。 ・ 同一名称のシンボルが複数存在 ・ namespace 定義されたシンボル ・ 最適化を行うオプションを指定して生成したシンボル	QIJT9220013 QIJT9230004

2022/09/30 リリース

Rev. 1.09

バージョンアップ時の注意	
ありません。	

機能追加および仕様変更	QI
以下の Python バージョンに新規対応しました。 ・ Python 3.7 (32/64bit) ・ Python 3.8 (32/64bit) ・ Python 3.9 (32/64bit) ・ Python 3.10 (32/64bit)	QIJT9220006
以下対応コンパイラを追加しました。 ・ IAR Embedded Workbench for Arm(バージョン:V9.3(AArch32))	QIJT9220007

不適合修正	QI
演算したアドレス変数の波形グラフ表示と測定データ (CSV) の保存結果が不正になる場合がある不適合を修正しました。	QIJT9220003
Python コマンドの start, memr, memw を実行したとき、不正な警告・エラーメッセージが出力される場合がある不適合を修正しました。	QIJT9220004
シンボルファイルからアドレス変数に登録するとき、64bit アクセスサイズ警告が不正なタイミングで出る場合がある不適合を修正しました。	QIJT9220005

2022/04/27 リリース

Rev. 1.08

バージョンアップ時の注意	
[ツール - ファームウェアの更新] を行い、最新のファームウェアを使用してください。	
以下の機能を使用するには、別途 64bit ライセンス (SKS100) が必要です。 ・ 32bit 超のアドレス空間および 64bit データサイズのアクセス機能	

機能追加および仕様変更	QI
32bit 超のアドレス空間および 64bit データサイズのアクセスに対応しました。	QIJT9220002
以下のマイコンに対応しました ・ ルネサスエレクトロニクス R-Car V4H	QIJT9220002

不適合修正	QI
シンボルファイル内の配列をアドレス変数に登録した後、シンボルファイルがリビルドなどにより更新された場合に、 ・ アドレス変数、変数ウォッチ、メモリライトで、背景色が赤くならない場合がある。 ・ アドレス変数で、測定対象から除外されない場合がある。 という不適合を修正しました。	QIJT9210002

2021/06/30 リリース

Rev. 1.07

バージョンアップ時の注意	
ありません。	

機能追加および仕様変更	QI
以下のマイコンに対応しました ・ Infineon (Cypress) TraveoII CYT2Bx シリーズ ・ Infineon (Cypress) TraveoII CYT3Bx シリーズ ・ Infineon (Cypress) TraveoII CYT4Bx シリーズ	QIJT9210001
EVRICA がユーザーシステムに接続するとき、ユーザーシステムのデバッグ回路リセットを行うかどうかを指定できるようになりました。	QIJT9210001

不適合修正	QI
ありません。	

2020/12/29 リリース

Rev. 1.06

バージョンアップ時の注意	
「ツール - ファームウェアの更新」を行い、最新のファームウェアを使用してください。	

機能追加および仕様変更	QI
メモライト画面の以下の機能に対応しました ・ 浮動小数点でライト/リードできるようになりました。 ・ アドレスごとに表示形式を指定してライト/リードできるようになりました。	QIJT9200007
測定周期を設定できるようになりました(設定範囲:10us-10s、設定単位:1us)。	QIJT9200008
EVRICA-Viewer ワークスペースファイルの利便性を向上しました。 EVRICA-Viewer が参照するシンボルファイルのパスを変更できるようになりました。 これにより複数の類似ソフトに対して、1つの EVRICA ワークスペースファイルを流用して作成できるようになります。	QIJT9200009
シンボルファイルから登録したアドレス変数が更新されたとき、以下の状態によって、アドレス変数、変数ウォッチ、メモライトの背景色を変化するようにしました。 ・ シンボルファイルが見つからない場合: 青色 →登録されているアドレスデータ型で測定をおこないます。 ・ シンボルファイルから変数が削除された場合: 赤色 →この変数は無効であるため測定対象から除外します。	QIJT9200009
メモライト/リード機能の速度を高速化しました。	QIJT9200010

不適合修正	QI
ありません。	

2020/07/20 リリース

Rev. 1.05

バージョンアップ時の注意	
以下のマイコンをご使用になる場合は、python 3.6.6(32bit 版)のインストールが必要です。 ・Texas Instruments AM335x シリーズ ・Xilinx Zynq UltraScale+ MPSoC	
機能追加および仕様変更	QI
以下のマイコンに対応しました ・ルネサスエレクトロニクス RA2 シリーズ ・Microchip Technology SAML11 ・Texas Instruments AM335x シリーズ ・Xilinx Zynq UltraScale+ MPSoC	QIJT9200001 QIJT9200002
シンボルファイル更新時にメモリライト画面のアドレス情報も更新するようにしました	QIJT9190018
EVRICA-Viewer がアクティブになった時にシンボルファイルの更新チェックをおこなうようにしました。	QIJT9200003
不適合修正	QI
シンボルファイル更新に関する以下不適合を修正しました ・シンボルファイル更新後、変数ウォッチウィンドウの表示形式が 10 進数→16 進数になる場合がある不適合を修正しました ・シンボルファイル更新後、アプリケーションエラーが発生する場合がある不適合 を修正しました ・シンボル更新結果が、トリガ画面のイベント欄に反映されない不適合を修正しま した。	QIJT9190019 QIJT9190020 QIJT9200005
マウスの左クリックで動作する設定が右クリックでも動作してしまう不適合を修正しました。	QIJT9200004

2019/09/30 リリース

Rev. 1.04

バージョンアップ時の注意	
ありません。	

機能追加および仕様変更		QI
ありません。		

不適合修正		QI
メモリライト画面の以下不適合を修正しました。		
・ 変数を選択する際に、先に選択した変数がクリアされてしまう不適合を修正しました。	QIJT9190001	
・ 新しい変数を追加すると表示フォーマットが強制的に 16 進数になる不適合を修正しました	QIJT9190002	
測定データ読み込み時、以下不適合を修正しました。		
・ 測定データが正しく描画されない場合がある不適合を修正しました。	QIJT9190003	
・ 波形グラフの拡大縮小を繰り返すと EVRICA-Viewer がフリーズする場合がある不適合を修正しました	QIJT9190011	
・ 測定データの読み込みを繰り返すと EVRICA-Viewer が強制終了する場合がある不適合を修正しました。	QIJT9190012	
変数ウォッチ View にアドレス変数を追加すると EVRICA-Viewer が強制終了する場合がある不適合を修正しました。	QIJT9190004	
シンボルファイル登録時、以下不適合を修正しました。		
・ enum で登録したシンボル変数がすべて 4byte 変数として登録されてしまう不適合を修正しました。	QIJT9190007	
・ アンアラインド・アドレスにある変数を登録できないように修正しました。	QIJT9190008	
波形グラフの以下不適合を修正しました。		
・ 一部グラフィックボードにおいて波形グラフの背景が白くなり測定した波形が閲覧できない場合がある不適合を修正しました。	QIJT9180002	
・ 時間軸と凡例が重なる場合がある不適合を修正しました。	QIJT9190009	
	QIJT9190013	
バージョンの新しいワークスペースを古い EVRICA-Viewer で読み込むとアプリケーションエラーが発生する場合がある不適合を修正しました。	QIJT9190010	

2019/02/15 リリース

Rev. 1.03

バージョンアップ時の注意	
ありません。	

機能追加および仕様変更	QI
Python スクリプト連携機能に対応しました。	QIJT9180004
測定データの演算機能に対応しました。	QIJT9180010
シンボルファイルにより指定したアドレスと測定したいアドレスが異なる場合、正しい値に補正する機能に対応しました。	QIJT9180011

不適合修正	QI
シンボルファイル登録時、以下不適合を修正しました。	
・ シンボルファイルを相対パスで登録しても一部絶対パスで管理される不適合を修正しました。	QIJT9180012
・ 変数の絞り込みや配列の展開を行うとアプリケーションが強制終了する場合がある不適合を修正しました。	QIJT9180013
・ 測定開始時、シンボル更新済にも関わらずシンボル更新通知が出力される場合がある不適合を修正しました。	QIJT9180015
作業フォルダが存在しない場所に設定された状態で測定開始するとアプリケーションが強制終了する場合がある不適合を修正しました。	QIJT9180013

2018/08/31 リリース

Rev. 1.02

バージョンアップ時の注意	
ありません。	

機能追加および仕様変更	QI
波形グラフの操作性を改善しました	QIJT9180004
以下対応コンパイラを追加しました。 ・ Linaro GCC Toolchain 5.5.0-2017.10 (バージョン:GCC 5.5.0) ・ Linaro GCC Toolchain 7.2.1-2017.11 (バージョン:GCC 7.2.1) ・ LLVM Clang (バージョン:4.0.0) ・ LLVM Clang (バージョン:5.0.2) ・ LLVM Clang (バージョン:6.0.0) ・ Arm Compiler (バージョン:v6.9) ・ IAR Embedded Workbench for Arm (バージョン:V8.22)	QIICE180003 QIICE180031 QIICE180055

不適合修正	QI
シンボルファイル登録時、以下不適合を修正しました。 ・ スタティックでないローカル変数が出力される不適合を修正しました。 ・ 構造体やクラスなどのメンバー変数が表示されない場合がある不適合を修正しました。	QIJT9180006
float 型を含む測定データを読み込んだ際、MAX 値が実データと異なる場合がある不適合を修正しました。	QIJT9180005
Cygwin などのパスが環境変数 PATH に設定されている場合に USB ドライバがインストールできない不適合を修正しました。	QIJT9180007
外部信号入力条件のイベントをトリガ発生条件に指定した場合、正しくトリガが発生しない場合がある不適合を修正しました。	QIJT9180008

2018/03/27 リリース

新規リリースしました。

Rev. 1.01

バージョンアップ時の注意	
ありません。	

機能追加および仕様変更	QH
ありません。	

不適合修正	QH
ありません。	